

能登半島地震復興支援

# 『震災を考える』お話とミニコンサート

～被災体験と被災者を励ました音楽～

2024. 2/19 (Mon) ~ 3/10 (Sun)

松江市内各公民館にて 入場無料

## 公演スケジュール

- 2月19日(月) AM11:00 忌部公民館 (0852-33-2010)
- 2月20日(火) PM4:00 島根公民館 (0852-85-2301)
- 2月26日(月) PM3:30 大庭公民館 (0852-24-8733)
- 3月4日(月) AM10:30 城北公民館 (0852-26-4437)
- 3月6日(水) AM10:00 玉湯公民館 (0852-62-9111)
- 3月7日(木) PM2:00 古志原公民館 (0852-26-4436)
- 3月10日(日) PM2:00 八束公民館 (0852-76-3663)

## プログラム

ヨーロッパ中世の歌「よきひとに逢っての帰りには」  
ハンガリー民謡、アイルランド民謡…他

斉藤 浩(ツインバロン)  
Hiroshi Saito (Cimbalom)



令和6年1月1日、16時10分、能登半島で発生した震度7という大地震。被害状況の全貌がいまだに把握できない状況であります。演奏者本人が、28年前に阪神淡路大震災を体験した時の話、2011年から8年間、続けてきた東日本大震災復興支援活動の話をお話してみませんか。そして、お話の後には、阪神淡路大震災を免れた楽器(イール・ツインバロン=ハンマーダグシマー)のミニコンサートします。三陸地方の仮設住宅を周って演奏し続けてきた『癒しのプログラム』を演奏します。

入場無料です。(お気軽にご参加下さい) ※会場に募金箱を設置いたします。お預かりした募金は全て被災地へお届けします。

主催：Cimbalom Art Japan

後援：松江市教育委員会、駐日ハンガリー大使館、リスト・ハンガリー文化センター

協力：混声合唱団みずうみ

お問い合わせ：080-3880-5766(斉藤) または mail@cimbalmos.com



## 『震災を考える』お話とミニコンサートに寄せて

私は社会人になる2か月前に阪神淡路大震災で被災しました。大学を卒業したら「留学」を考えていましたがそれを諦めなければなりませんでした。生活を再建するのに6年以上の月日を要し、ようやく留学できました。留学から帰国し、岩手大学から毎年のように特別講師として招かれ、松江と岩手を行ったり来たりしてる中で、今度は東日本大震災が起こりました。2011年より8年間、車中泊をしながら、三陸地方の仮設住宅を1日に3カ所周り、小さな小さな集会所で支援コンサートを続けてきました。被災地の被害状況、被災者の方々の生活、苦悩、希望、街が復興していく姿を自分の目で見てきました。そしてこの1月1日、能登半島で大地震、津波が発生。未だに全貌が明らかになっていない状況ではありますが、「震災」について自分の経験をもとに、自分の言葉でお話したいと思います。そして仮設住宅で演奏した楽器の『癒しの音色』にも耳を傾けて頂きたいと思っています。

### 斉藤浩 Hiroshi SAITO (ツインバロン Cimbalom)

大阪音楽大学作曲学科卒業。ハンガリー政府給費留学生としてブダペストに留学。2003年、エチュード音楽院ツインバロン科首席卒業、ディプロマ取得。その後、ハンガリー国立リスト音楽院を経て、2004年、学長特別推薦によりスロヴァキア国立パンスカー・ピストリツァ芸術アカデミーに編入。2006年、同校首席卒業。この時、アジア人として初めてツインバロン・ソリストディプロマを授与された。

2004年、バラツジャルマツ国際コンクール第1位。これまでにスロヴァキア国立パンスカー・ピストリツァ歌劇場管、ハンガリー国立ジュール・フィル管弦楽団(ハンガリー)、東京都交響楽団、日本読響交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪、京都市交響楽団などと共演。またサントリーホールサマーフェスティバルでは、2006年にレントウ《星》、2008年にジェルヴァゾーニ《イーレネ・シュティンメ》、2014年にデュサパン《風に耳をすませば》の初演にも関わった。ソロ・リサイタルをハンガリーだけでなく日本各地でも開催、好評を得ている。

クラシックをはじめ、中欧の民俗音楽、ジャズ、映画音楽、現代音楽にいたるまでレパートリーは広く、日本を代表するツインバロン奏者として注目されている。

2023年11月にはNHKホールにおいてNHK交響楽団と共演。11月10日にはNHKFM『ベストオブクラシック』で生放送、2024年1月21日にはNHK E-テレ『クラシック音楽館』でも放送され、高い評価を受ける。



### ツインバロンについて



ツインバロンは、西アジアに起源をもつ楽器です。世界には大小様々なツインバロンがあり独特の音楽文化として発展しました。台形の箱の上に張ってある金属弦を、綿を巻いたバチで叩いて演奏します。そのような弦を叩いて演奏する楽器を総称して「打弦楽器」と呼びます。ハンガリーやチェコ、スロバキアなど中欧の国々ではレストランで演奏しているロマ楽団の中にこの楽器を見ることができます。目にも止まらぬ早ワザで、そこにいる人々を魅了します。また、フォークロアの楽器としても、民俗楽団の中で演奏されています。さらに近年、現代音楽の分野では新しい音素材として注目されています。

### 復興支援(募金箱)について

各会場に募金箱を設置いたします。お預かりした募金は「義援金」として全て被災地へお送りします。またCD『Life(¥3,000)』の収益もあわせて被災地にお送りすることにしていきますので、なにとぞご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。

#### 【お問い合わせ】

mail@cimbalmos.com もしくは、080-3880-5766(斉藤)までお願いいたします。